

NP5Y-Challenge50

決算説明資料

2020年3月期第3四半期



Listed Company 4241

2020年2月
株式会社アテクト
NP5Y-Challenge50

2020年3月期第3四半期 業績総括



Listed Company 4241

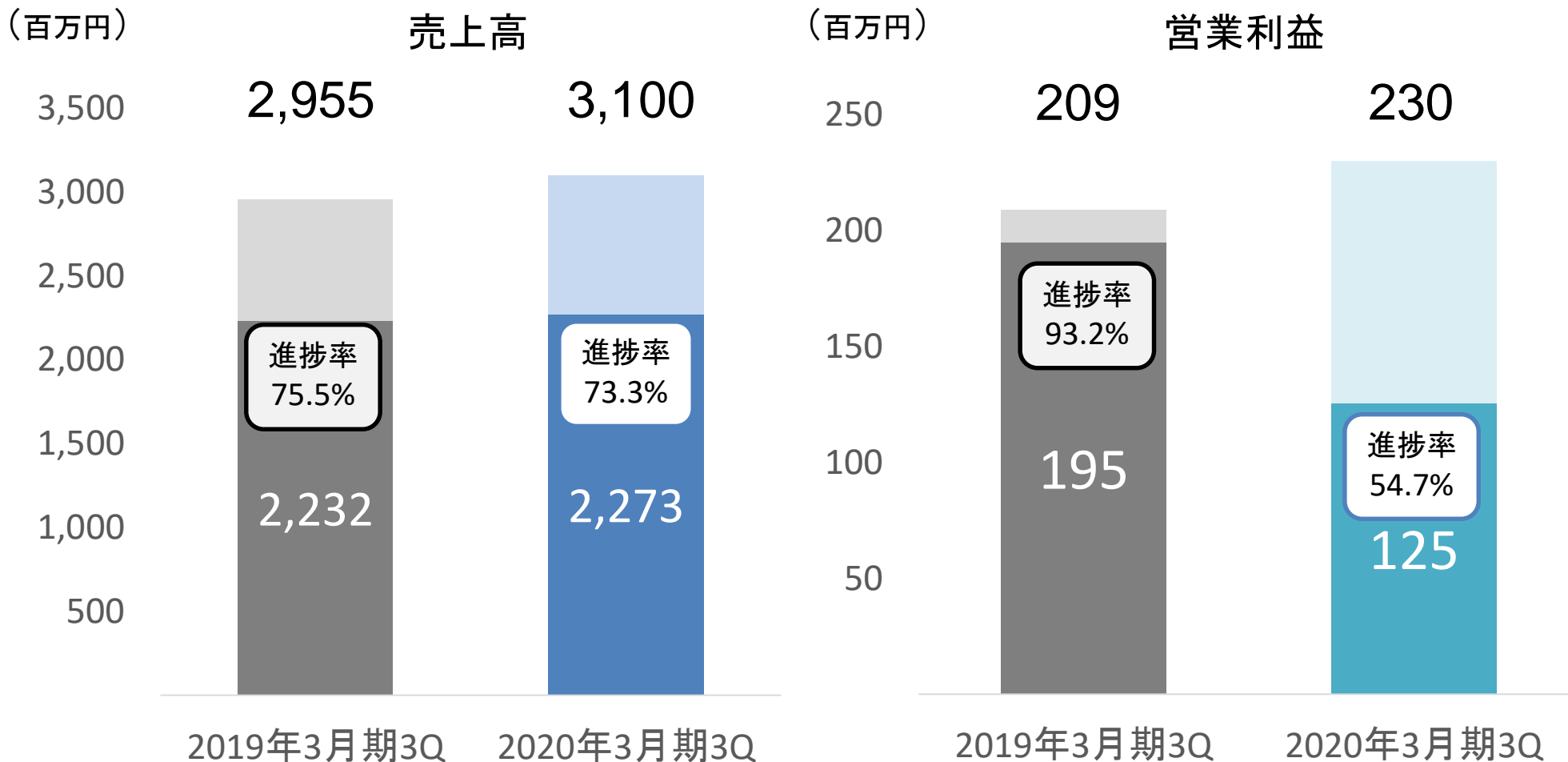
全社連結業績

(百万円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,232	2,273	40	1.8%
営業利益	195	125	▲69	▲35.5%
	8.7%	5.5%		
経常利益	177	92	▲84	▲47.9%
	7.9%	4.1%		
第3四半期 純利益	137	89	▲47	▲34.7%
	6.1%	3.9%		

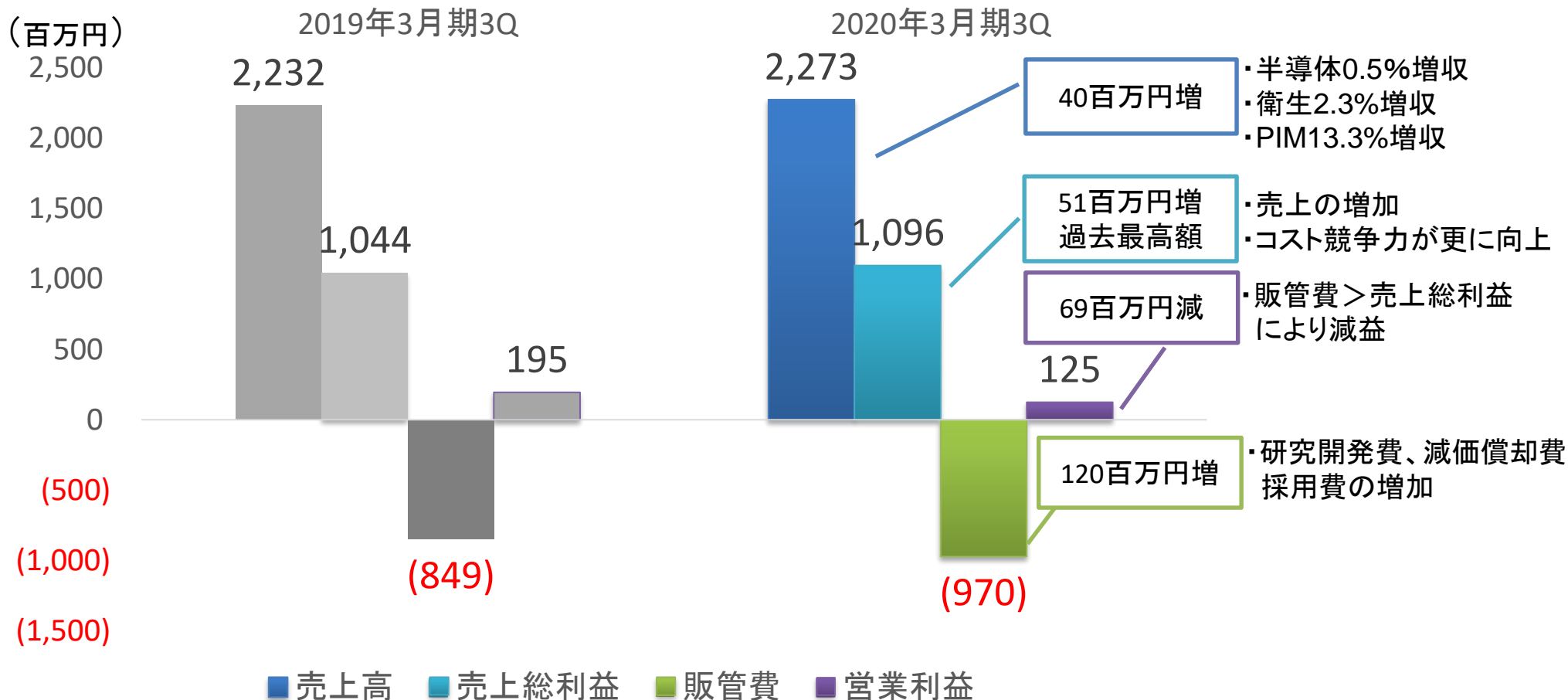
売上高1.8%増、営業利益35.5%減

今期計画に対する進捗



第3四半期単独で半導体資材事業の5期ぶりの減収、PIM事業の高機能部品売上計画の未達により減益

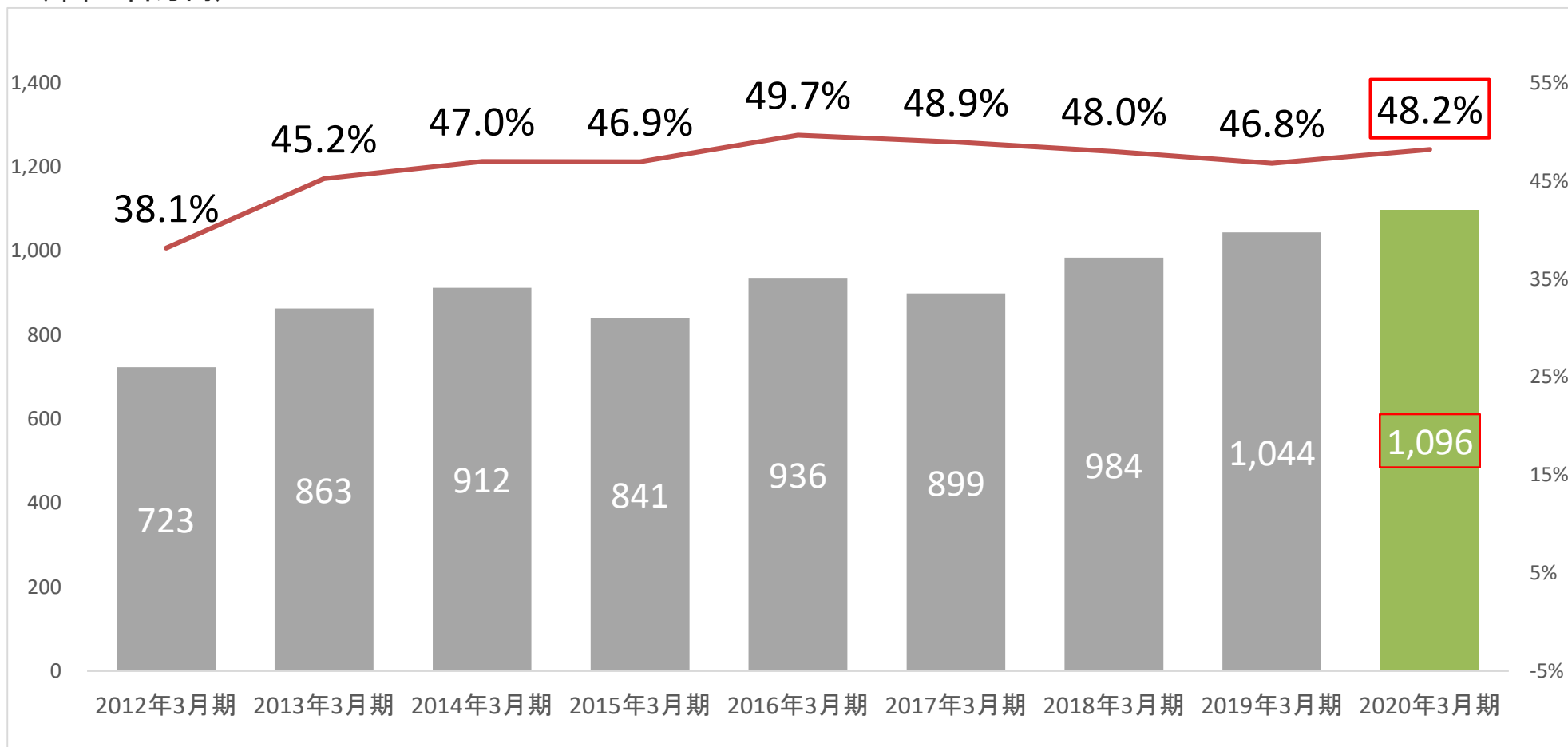
2020年3月期3Qサマリー



全セグメントにおいて増収となり売上総利益は過去最高を更新したが、売上計画未達により増加した販管費を吸収できず69百万円の減益

売上総利益推移(第3四半期連結累計期間)

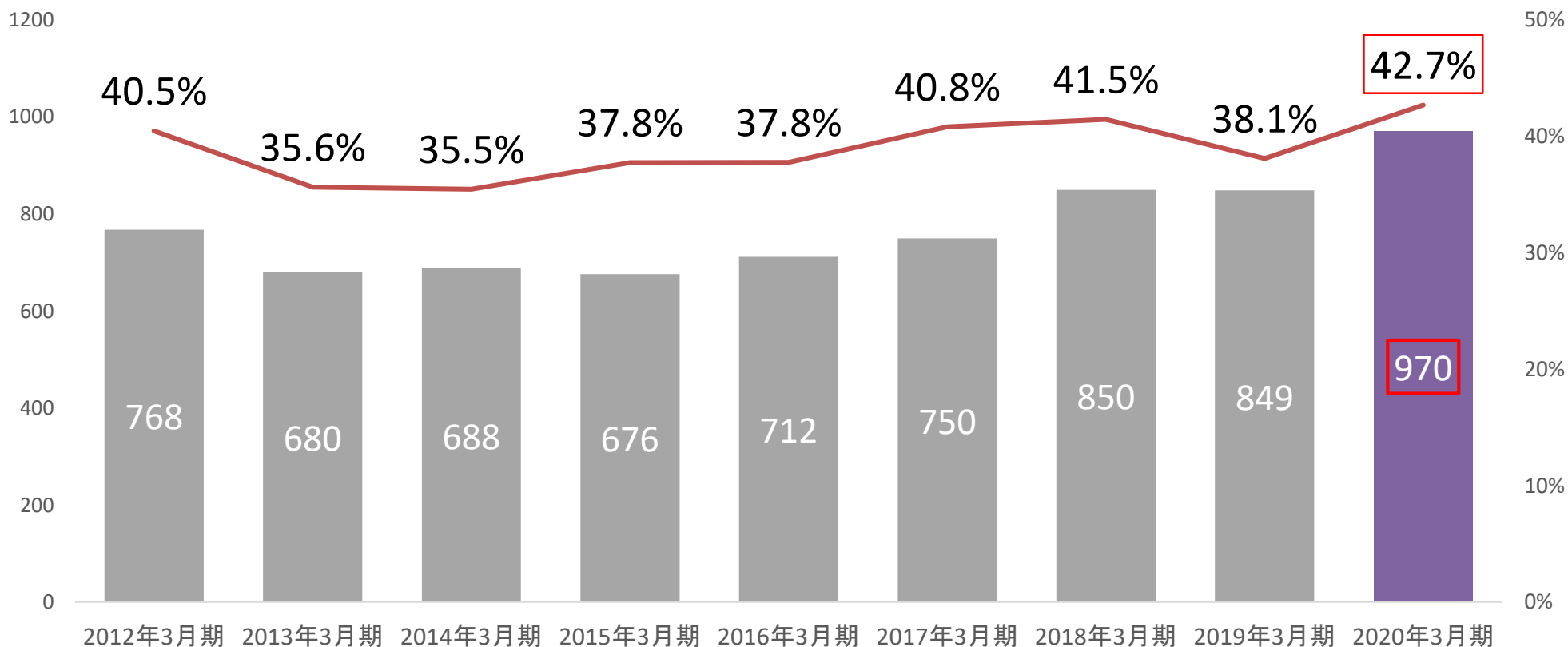
(単位:百万円)



売上総利益は各事業部での原価低減活動が奏効し、過去最高を更新

販売管理費推移(第3四半期連結累計期間)

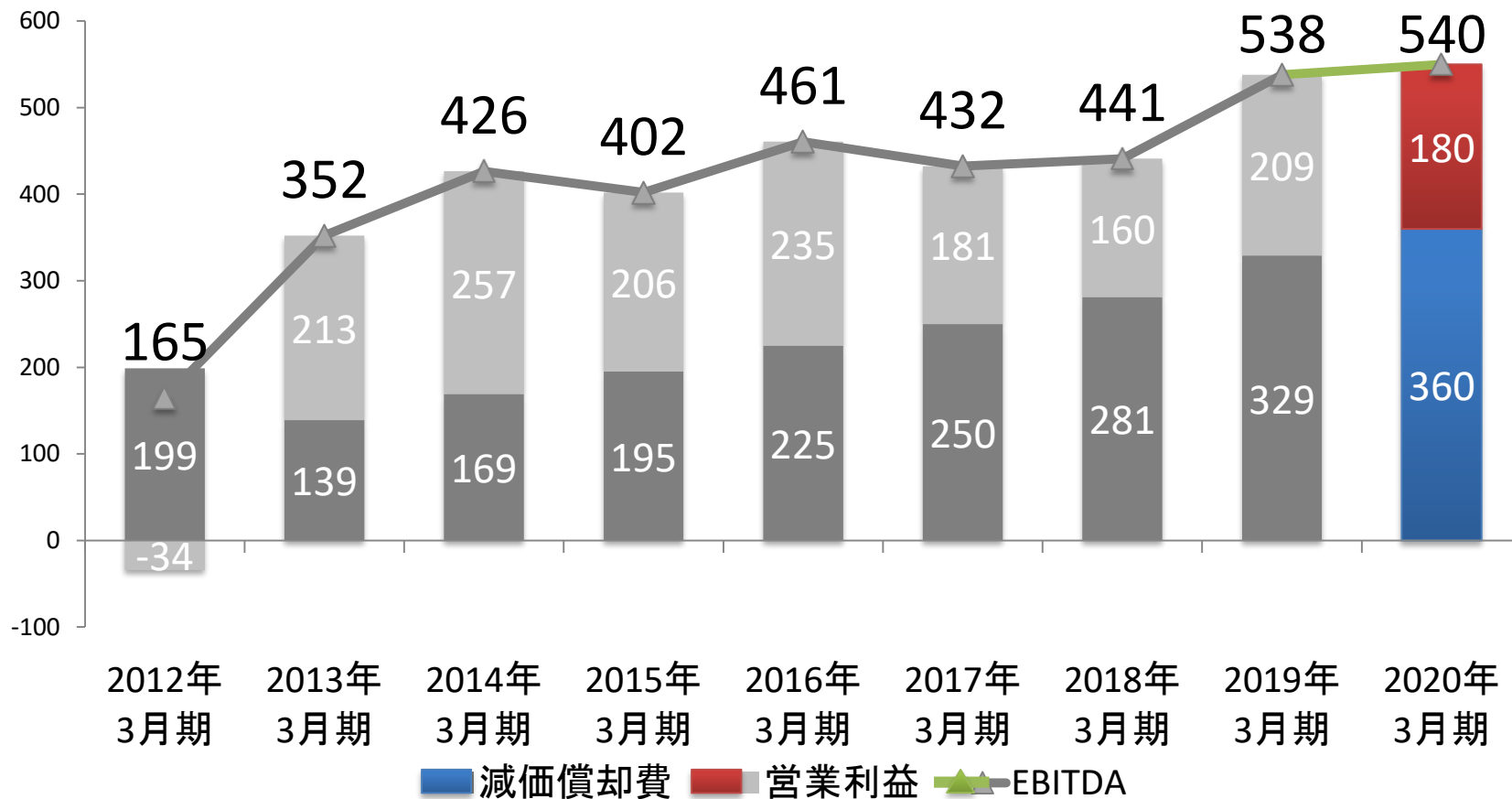
(単位:百万円)



自動車部品事業の研究開発費、開発用設備の減価償却費、幹部社員の中途採用費等により販管費は費用・率共に過去最高を計上

2020年3月期EBITDA(企業収益力)見通し

(百万円)



営業利益は減益の見通しとなったがEBITDAは過去最高の見通し

セグメント別業績

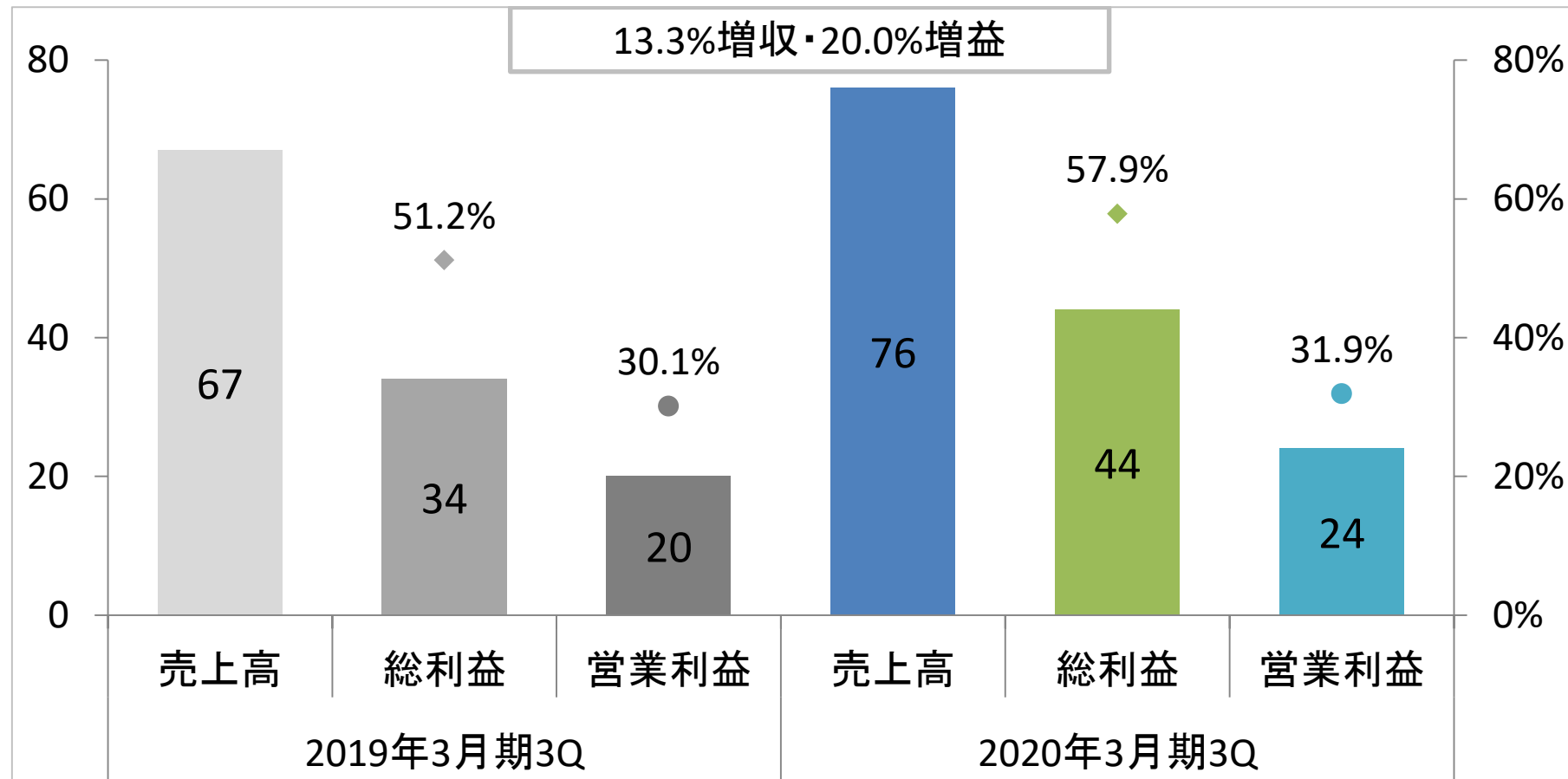
atect

(百万円)

	半導体資材事業			衛生検査器材事業			P I M事業		
	2019年 3月期3Q	2020年 3月期3Q	増減率	2019年 3月期3Q	2020年 3月期3Q	増減率	2019年 3月期3Q	2020年 3月期3Q	増減率
売上高	985	990	0.5%	1,179	1,206	2.3%	67	76	13.3%
売上 総利益	470	461	-1.8%	540	590	9.3%	34	44	28.1%
	47.7%	46.6%	-	45.8%	48.9%	-	51.2%	57.9%	-
営業利益	124	57	-53.9%	49	43	-12.2%	20	24	20.0%
	12.7%	5.8%		4.2%	3.6%		30.1%	31.9%	

セグメント別業績(PIM)

(百万円)



高機能部品の拡販により増収増益

●高機能部品の受注状況

前期まで獲得の11品番に加え、当第3四半期連結累計期間において高機能部品19件、材料販売7件を新規に受注

※中国経済失速により半導体製造設備、工作機械用部品等の受注額が想定を下回り 期首売上計画は未達となった

●自動車部品事業

従来工法であるファインブランキング(プレス)やロストワックス等ではコスト、品質面での両立が厳しくなっていることから、国内大手ターボメーカーより、当社PIM工法によるノズルベーンを含む数種類の部品製造への引き合いが増加、2車種5品番の試作の正式受注獲得に加え、既存の製品に対してコストダウンにつながる代替案であるVA提案による当社への切換案件も進行中

売上拡大の為のリカバリーも含めた高機能部品受注獲得に向けた営業活動を控え、試作イベント(本イベントを経て量産を開始する自動車メーカー共通の流れ)に特化

自動車部品立上げ進捗

大手ターボメーカーと自動車用ターボ部品、ノズルベーンをはじめとする数品種の量産に関する基本合意(MOU)を締結

今後約1年以内の間に下記手順により量産準備に入る

- ・試作(当社) ⇒取引先とのシステム監査完了
- ・評価(客先) ⇒5品番の試作金型完成・客先評価予定通り進行中
- ・承認(自動車メーカー) ⇒2020年4月～11月予定
- ・量産最終合意
- ・検査装置他準備(当社)
- ・工程監査
- ・量産開始(当社)

※赤文字部分が進捗
青字部分は予定

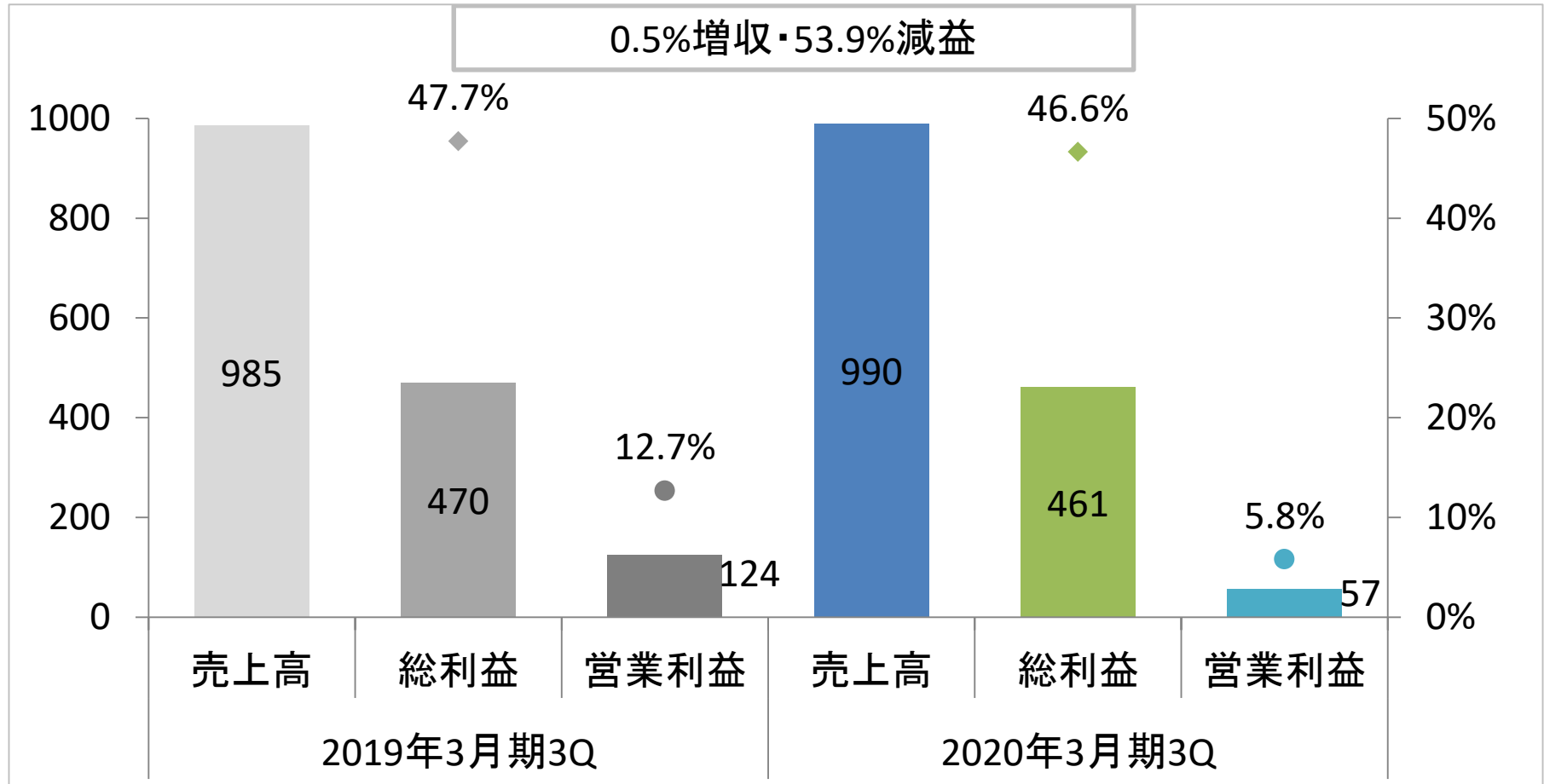


2021年3月期中の量産を目指し、試作イベントに着手

⇒好調な高機能部品の拡販活動と前倒しとなった自動車部品の量産化を両立する為、社内体制をより一層強化する

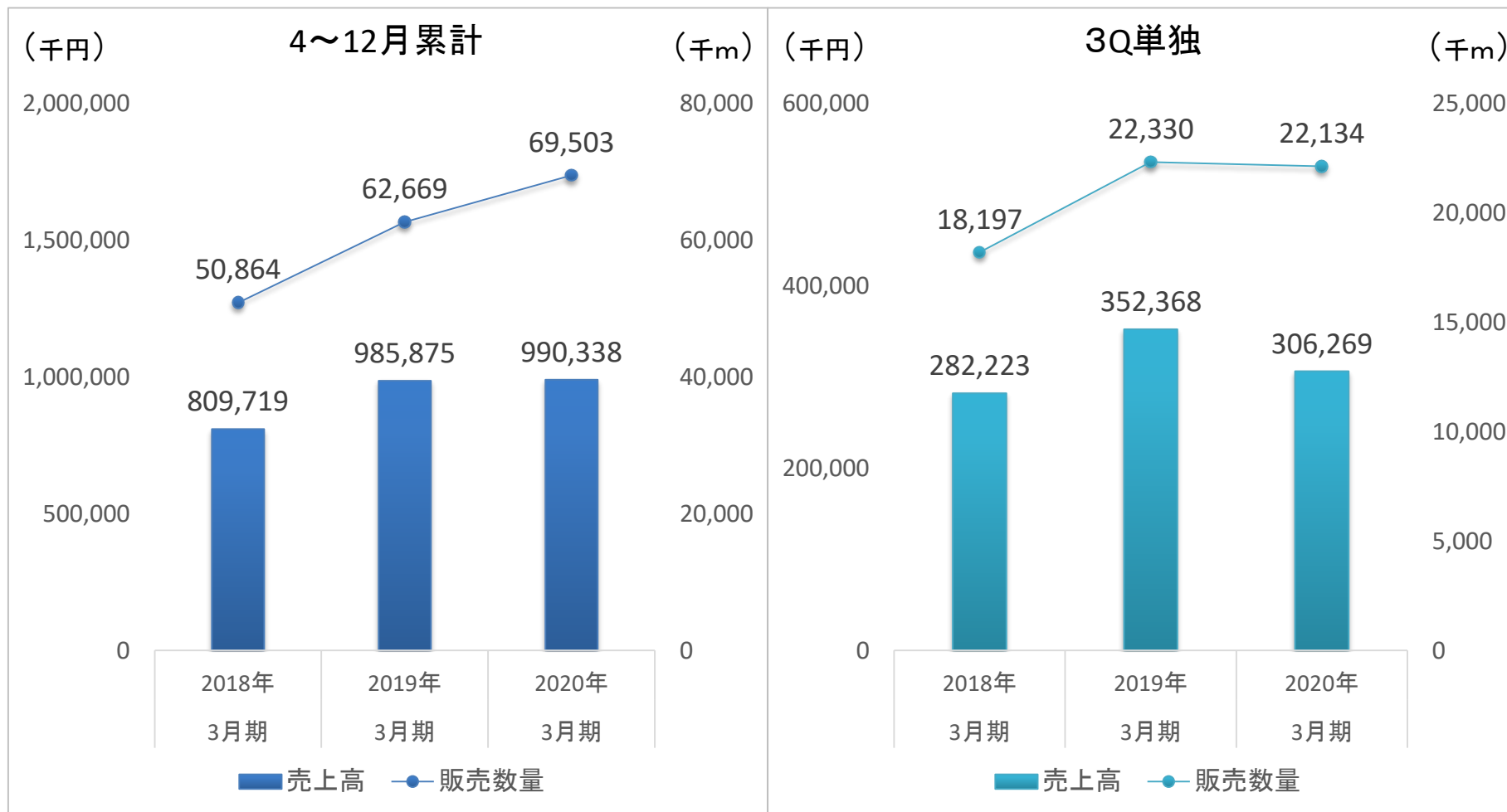
セグメント別業績(半導体資材)

(百万円)



販売数量は10.9%増と伸長したが、円高・韓国ウォン/台湾ドル安及び一部顧客の在庫調整等の影響により、売上高は0.5%増に留まり総利益額が微減

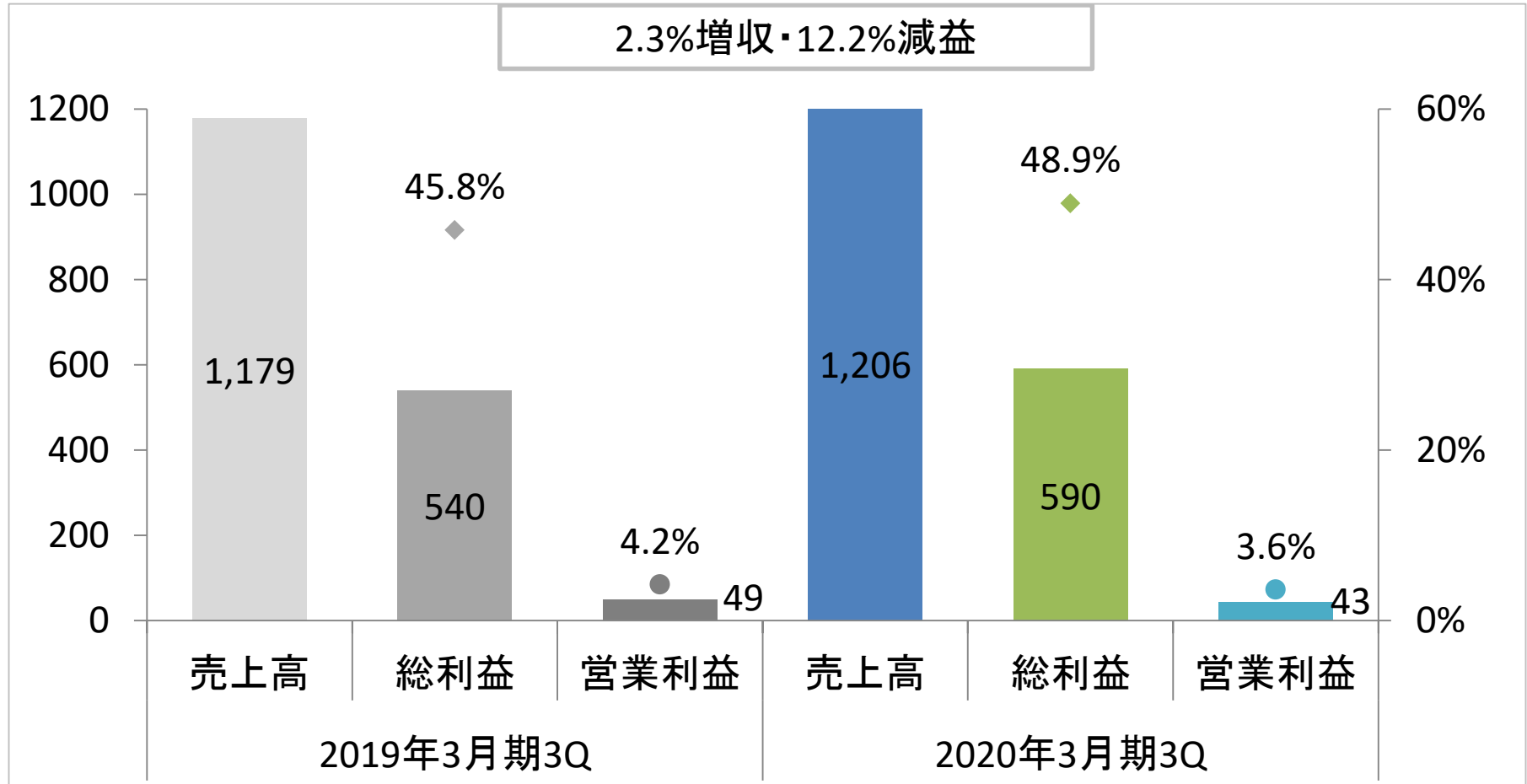
半導体資材売上高・出荷数量推移



4~12月の販売数量10.9%増と伸長したが、3Q単独では一部顧客の在庫調整等の影響により、出荷数量は横ばいとなり、円高・韓国ウォン/台湾ドル安の影響により3Q単独では5期ぶりの減収

セグメント別業績(衛生検査器材)

(百万円)



2019年3月に開設した東京営業所の拡販活動、受注が途切れていた先への販売再開等が奏功し第3四半期累計売上高は4期ぶりの増収

今後の見通しについて



Listed Company 4241

通期業績予想の修正について

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	3,100	230	210	130	29円68銭
今回修正予想(B)	3,000	180	160	100	22円82銭
増減額(B-A)	△100	△50	△50	△30	—
増減率(%)	△3.2	△21.7	△23.8	△23.1	—
(ご参考)					
前期実績(2019年3月期)	2,955	209	194	127	29円23銭

主に下記2点の理由により業績予想の修正を行いました。

① 半導体資材事業

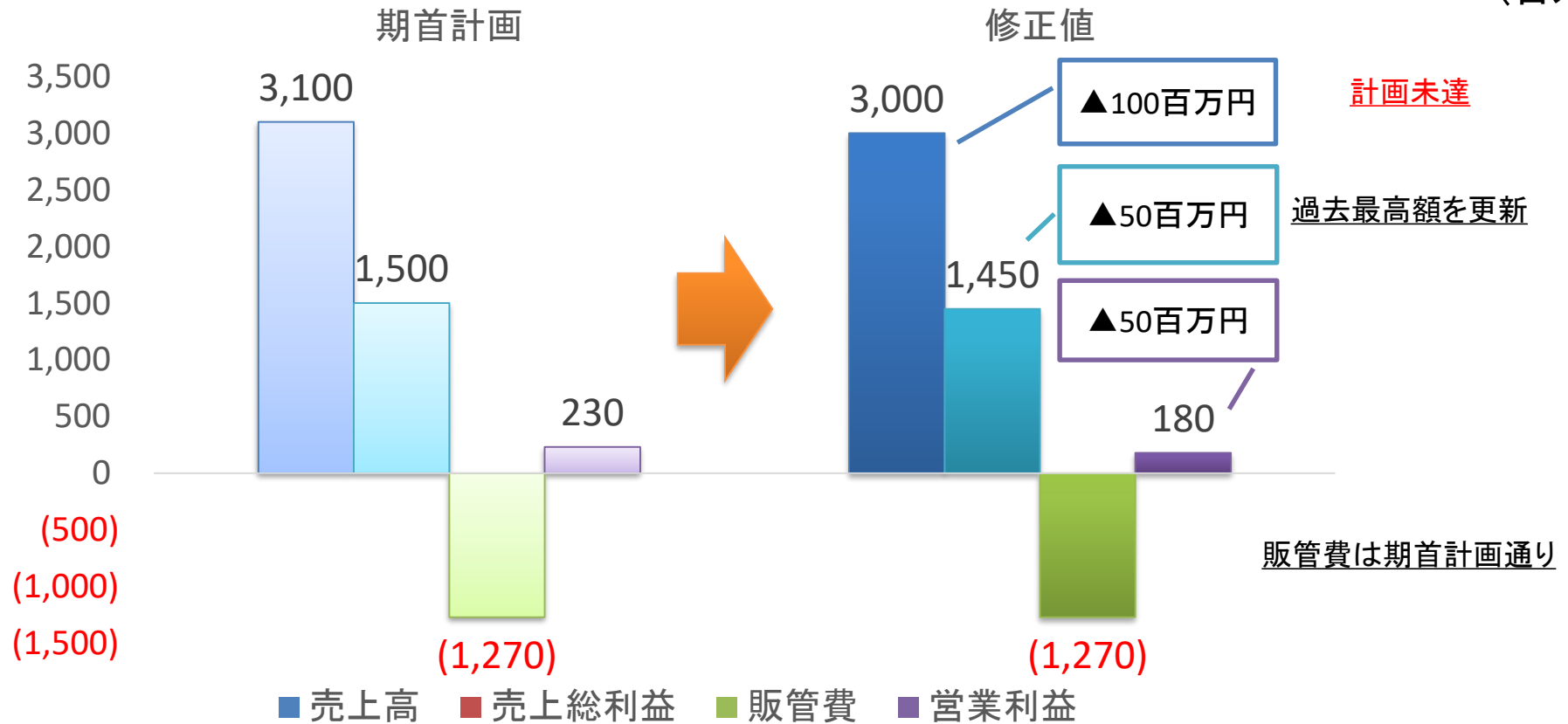
円高・韓国ウォン/台湾ドル安の影響と一部顧客の在庫調整により、出荷数量が横ばいとなり、第3四半期単独では5期ぶりの減収となりました。

② PIM事業

半導体製造設備、工作機械等の世界的な需要の落ち込みが続く中、予定していた直動型ベアリングをはじめとする高機能部品の受注が想定を大きく下回る結果となりました。一方で2車種の自動車ターボ部品の試作を正式受注し、敢えて、売上拡大の為のリカバリーも含めた高機能部品受注獲得に向けた営業活動を控え、試作イベントに特化しました。

通期業績予想の修正について

(百万円)



売上高の増加により販管費の増加を十分に吸収し、増益を計画しておりましたが、100百万円の売上計画の未達により利益計画が減少の見込みとなりました

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail:ir@atect.co.jp